



2021年度「牧羊者」夏期学校教案



テーマ 「賢い人ダニエルと三青年」

聖句「たとえそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々には仕えず、あなたが建てた金の像を拝むこともしません。」 (ダニエル3・18)



- | | | |
|-----|------------|---------------|
| 第1課 | 「賢い決意」 | (ダニエル1・1～12) |
| 第2課 | 「生きた信仰」 | (ダニエル3・13～30) |
| 第3課 | 「生きておられる神」 | (ダニエル6・6～24) |



今年の夏期学校教案は2006年度分のリソースを活用させていただきました。新型コロナの影響で2021年の夏にはキャンプを行えない教区、教会もあると思います。年度にこだわらず活用していただければと願っています。

一、ワークの区分について 近年の牧羊者では、小学生向けのワークをB（主に1～3年）とC（主に4～6年）の二つに分けていますが、この夏期教案では三つ（下級、中級、上級）の分け方になっております。それぞれの対象に応じて、適当なものを選んで使ってください。

二、カリキュラムについて この項目には、2006年の夏期教案の説明文を記させていただきます。

旧約聖書から「ダニエル書」を選びました。昨今、子どもたちは真の神を知らず、占い、オカルト、映画やテレビ、ゲームなどを通して、様々な悪の誘惑にほんろうされ、また、多くの事件に遭遇しています。

真の神を知って、神を知らないことがいかに大きな罪を招いていくかを知り、真の神を畏れる事が大切なことであるかを、教師も共にダニエル書から学びましょう。そして、神を畏れる賢い祈りの生活をする者とならせていただきますよう。

夏期学校は、一人一人の子どもたちとゆっくり交わり、語り合える最高の時です。交わりの中で、ふと自分の罪のこと、家族や学校での心の悩みを相談してきます。イエス様と共に明るく楽しい時間を過ごし、何でも語り合い、祈り合うなかで、一人でも多くの子どもがイエス様と出会う恵みの時となりますように。

今年度の教案の第1課は、人を恐れず、神を畏れて賢い決意をすること、第2課では、いのちをかけて真の神を信じた三青年の信仰にならうこと、そして、第3課は、祈りの生活が神との深く堅い信頼関係を築くことを学び、ダニエル書に記されている信仰にならうことを教えます。

一人一人の子どもが、ダニエルや3青年のように、人ではなく真の神に従うことを選び祈って、神に栄光を帰する子どもとされますように。そして、一人一人の子どもが神を証しできますように共に祈りしましょう。お互いの働きのために祈り合うとき、すばらしいことがなされることでしょう。

三、ワード形式での提供について かねてよりワークをワード形式で提供してほしいとの声がありましたので、昨年度に続いて、そちらも用意させていただきました。各訳への対応など、必要に応じて適当に編集して用いてください。

四、終わりに 執筆者は、メッセージ例…長谷川宣恵師、下級ワーク…白尾真理子師、中級ワーク…長谷川ひさい師、上級ワーク…小岩喜代美師です。それぞれの先生が、リソース活用を快く許可してくださいましたことを心より感謝いたします。

第一課 賢い決意 (ダニエル 1・1～12)

暗唱聖句

ダニエルは、王が食べるごちそうや王が飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定めた。

ダニエル 1・8

日 標

異邦の王を恐れず、神を畏れて賢い決意をしたダニエルに学ぶ。

導入

皆さんがもし外国へ無理やり連れて行かれ、まちがった神様を信じるように言われたり、まちがったことをするように言われたらどうしますか？ 困ってしまいますね。勇気を出して断ることが出来るでしょうか。今日は、そんな大変な状況に出会っても賢い決意をしたダニエルと青年のお話を学びましょう。

ダニエルたちはバビロンへ

紀元前605年に、イスラエルの国はバビロニア帝国に滅ぼされ、人々は捕われの民となりました。ダニエルと友人のハナンヤ、ミシャエル、アザルヤたちも、バビロンへ連れて行かれ、そこで生活させられることになったのです。

ダニエルたちは王族の血統の者であり、顔かたちがよく、賢かったので、ネブカドネツアル王（バビロニア帝国の王）は彼らを選び出して、カルデア人（バビロニア帝国の支配民族）の教育を受けさせ、自分のために働く者にしようと考えました。

そんな彼らにまず最初に起こった困った出来事は、自分たちの名前と違う「呼び名」が付けられたことでした。しかも、全員バビロンの偶像の神に関係して付け

られた「呼び名」だったのです。

ダニエルは「ベルテシャツアル」これは「バビロンの神への祈願の言葉」でした。3人の友人の名前も「シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ」とそんな風に考えて付けられてしまったのです。まことの神様を信じ続けて来た人にとって、本当に悲しい「呼び名」だったと思います。

ダニエルたちの賢い決意

「呼び名」はがまんしたダニエルたちですが、どうしても、断固として拒否しなければならぬことがありました。とても大変な決意でしたが、ダニエルたちはそれを実行することにしたのです。

バビロンは古代から偶像礼拝の盛んな都市でした。二五〇〇にもおよぶ偶像の神々がありました。そのような偶像には、ほとんどの場合、肉や酒が供えられていました。その中には、律法で食べることを禁止されている動物の肉もあつたのです。その「肉や酒を飲み食いしなさい」と言われたのです。

ダニエルたちは宦官の長（宮廷に仕える役人の長）に、「王が食べるごちそうや王が飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定めた」（8）ので「王の与える食事をさせないでください」と申し出たのです。つまり、「偶像に供えられた肉や酒は食べたり飲んだり出来ません」と断ったのです。

宦官の長はとても困りました。王の命令に背いて違う食物を与え、ダニエルたちが他の青年たちより健康状態が悪くなったら大変です。王の怒りを自分が受けて、処刑されるかもしれないと思ったのです。宦官の

長も真剣だったのでしょうか。

そこで、賢いダニエルたちは言いました。「どうか十日間、しもべたちを試してください。私たちに野菜を与えて食べさせ、水を与えて飲ませてください。そのようにして、私たちの顔色と、王が食べるごちそうを食べている少年たちの顔色を見比べて…このしもべたちを扱ってください」と係の役人に頼みました。すると、その願いが聞き入れられ、10日間だけ、ためられることになりました。本当ならそんなことは許されないはずですが、許されたのですから不思議です。

10日間が経ちました。なんと、王の食べる肉や酒で養われている若者よりも、野菜と水だけを食べ、飲んでいたダニエルたちの方が顔色がずっと良く、体も肥え太っていたのです。素晴らしいことですね。神様が彼らを守られたのです。

まとめ

3年の教育期間が終わって王が若者たちをテストしてみました。なんと、他の若者たちと比べてダニエルたちは抜群な成績でした。全国の知恵者たちよりも10倍も賢かったことも分かりました。それからのダニエルたちはバビロンの王に仕え、とても用いられるようになりました。

偶像の神に供えたものを食べることを堅く拒否したダニエルたちは、まことの神様だけを信じる信仰を周囲に告白する決意をしました。この決意を神様が守り、大きく祝福してくださいました。

神様を心から信じ畏れる人を、神様は必ずお守りくださるのです。

第二課 暗唱聖句

生きた信仰 (ダニエル 3・13～30)

たとえそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々には仕えず、あなたが建てた金の像を拝むこともしません。ダニエル 3・18
命をかけてまことの神を信じた三青年の信仰にならう。

日 標

導入

ダニエルと3人の友人はその後神様に守られ、なんとダニエルはバビロン州の総督になり、また3人の友は書記官にまで昇進することが出来ました。一生懸命与えられたお仕事に励んでいたのでしょうか。そんな順調そうに見える時に、また、困ったことが起きました。今日は、ダニエルの友人であるシャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの3人の信仰について学びましょう。

金の像を拝みなさい

バビロンのネブカドネツアル王は、ある時、高さが27メートルもある巨大な金の像を作り、楽器の音が聞こえた時には必ずその像を拝めという命令を出しました。ネブカドネツアル王だけが最も偉大であることを示すためだったのです。「拝む」とは、神として礼拝しなさい、ということなのです。

もし、その命令を破る者は、直ちに火の燃える炉の中に投げ込んで、焼き殺されるといひい刑罰つきのものでした。

シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの3人は、も

しろん、金の像を拝みません。天地を造られたまことの神様以外、何ものをも神様として拝むことなど出来なかったのです。

それを見ていた人たちがいました。それは3人をねたんでいたカルデア人たちでした。きつと、自分たちより王に高く評価されていた、ダニエルや3人の友人をうらやましく思い、うらみの気持ちをもっていたからだと思います。ですから、ネブカドネツアル王に告げ口をしたのです。

火の燃える炉

ネブカドネツアル王はかんかん怒って、3人を呼び出し、「おまえたちは私の神々に仕えず、また私が建てた金の像を拝みもしないというが、本当か。：拝まないなら、おまえたちは、即刻、火の燃える炉の中に投げ込まれる。どの神が、私の手からおまえたちを救い出せるだろうか」(14、15)と脅かしました。

「自分こそ神だ」と恐ろしいことを言う王でした。

しかし、この王の言葉に、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの3人は「このことについて、私たちはお答えする必要はありません。もしそうなれば、私たちが仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ、あなたの手からでも救い出します。しかし、たとえそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々には仕えず、あなたが建てた金の像を拝むこともしません」と力強く語りました。

何という強い信仰と勇気でしょう。「火の燃える炉」が待っていても、「神様は必ず救ってくださいま

す！」と信じていた人。たとえ、このたびの燃える炉から救われなくて、焼け死んだとしても、神様は永遠の天国に私たちを招き入れてくださるので全然心配していません！」「たとえ、どうなるうとも、あなたの建てた金の像は拝みません！」と断固として偶像礼拝を拒否したのでした。

王は怒り、顔色まで変えて、炉をいつもより7倍も熱くさせ、3人をその中に投げ込ませました。

救出された3人

3人を炉に連れて行った役人が熱くて死ぬほどの炉でしたが、ネブカドネツアル王が見ると、何と3人は火の中を歩いていました。しかも、「私には、火の中を縄を解かれて歩いている四人の者が見える。：第四の者の姿は神々の子のようだ」、と王は言ったのです。

神を信じない王が「神々の子のようだ」と言い、3人に炉から出るように告げました。奇跡です。シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの3人は、髪の毛も上着も焼けず、火の臭いも移っていませんでした。

まとめ

ネブカドネツアル王は、この奇跡を目の当たりにし「3人の神はほむべきかな。このように救いを施すことのできる神は、ほかにない」と認めました。まことの神様があがめられたのでした。

3人の信仰は力強く、素晴らしいものでしたね。「たとえそうでなくても」と自分の思いでなく、命をかけた信仰に私たちも見習いましょうね。

第三課 生きておられる神

(ダニエル 6・6～24)

暗唱聖句 彼が神に信頼していたからである。

ダニエル 6・23

日 標 祈りの生活が神との深く堅い信頼関係

を築くことを知る。

導入

第二課では、ダニエルの3人の友人が「燃える火の炉」から神様によって救出されたことを学びましたね。今日の出来事も、とても恐ろしい出来事です。今日は、ダニエルの身に起こった神様の奇跡を学びましょう。聖書の中でもとても有名なお話です。

人々の陰謀（ねたみ）

バビロニア帝国はメディアという国のダレイオス王によって滅ぼされてしまいました。ダニエルは立派な人物だったので、続けてダレイオス王のもとで大臣として働き続けることになりました。しかも、ダニエルは総理大臣に任命されるほど、ダレイオス王に信頼されていました。

ところが、他の大臣がそのことをねたんで、ダニエルを引きずり降ろそうと相談しました。彼らは、ダニエルに悪いところはないかと、いろいろ捜しましたが、怠けず一生懸命に仕事をしますし、悪いところは全く見つからなかったのです。

とうとう大臣たちは「もう、こうなったらダニエルの信じている神様のことでしか、彼を困らせることは出来ない」と考えつきました。

大臣たちの悪巧みがまとまり、彼らはダレイオス王に「王様、今から30日間、王様だけにしか願い事をしてはならず、もし王様以外の神様や人に願い事をする者がいたら、獅子の穴に投げ入れましょう。そして、誰もこの法律を変えることができないものと決めましょう」と申し出たのです。

恐ろしい計画でした。大臣たちはダニエルを殺してしまおうとしたのです。ダレイオス王は何も分からず、だまされて大臣たちの考えをよいことだと思い、この命令にサインをしてしまいました。

ダニエルはその命令を知り家に帰りました。何をするために帰ったのでしょうか？ダニエルは「お祈り」をするために帰ったのです。「その屋上の部屋はエルサレムの方角に窓が開いていた。彼は以前からしていたように、日に三度ひざまずき、自分の神の前に祈って感謝をささげていた」（10）のでした。恐ろしい命令が下されたことをよく承知しながら、しかも「お祈り」することが、王の命令に反していることを知りながらも、ダニエルはまことの神様を礼拝し、「お祈り」したのです。「いつも」していた通りに、「神様の前に祈り」をささげ続けたダニエルでした。それを見張っていた人がいました。もちろん、ひどい命令を考えた大臣たちでした。彼らはダレイオス王に告げ口に行きました。「ダニエルを獅子の穴に」と訴えに来たのです。ダレイオス王はダニエルのことをとても信頼していましたので、何とかしてダニエルを救おうと一日中努力しましたが、王が命令しサインした法律は王でさえ取り消すことはできませんでした。

ダニエル「獅子の穴」へ！

王の命令は絶対です。とうとうダニエルは「獅子の穴」に投げ込まれました。ダレイオス王は「おまえがいつも仕えている神が、おまえをお救いになるように」と、ダニエルの信じているまことの神様へお祈りするような気持ちで石で穴をふさぎ封印をしました。ダレイオス王は宮殿に帰っても、ダニエルが心配で、食事もしられず、一睡もできませんでした。

次の朝早く、ダレイオス王は「獅子の穴」に飛んで行き、悲しそうな声で「生ける神のしもべダニエルよ。おまえがいつも仕えている神は、おまえを獅子から救うことができたか」と聞きました。すると、どうでしょう。殺されていて当たり前のダニエルから「私の神が：獅子の口をふさいでくださったので、獅子は私に何の危害も加えませんでした」と元気な声が返ってきたのです。王は大喜びで「ダニエルを穴から出さない」と命じました。神様がダニエルを守られたのです。

そして、ダレイオス王の命令で、今度は、悪巧みを計画し、ダニエルを殺そうとした大臣たちが「獅子の穴」に投げ込まれてしまったのでした。

まとめ

ダニエルは常に何をしましたでしょう。それは「神に祈りをささげた」のです。神様に全く信頼し、祈ることを通して常に神様と交わっていたのです。だから、いつも心が平安だったのです。「信頼して祈り続ける」人を神様は必ず祝福してください。ダニエルのように信じて祈っていきましょう。

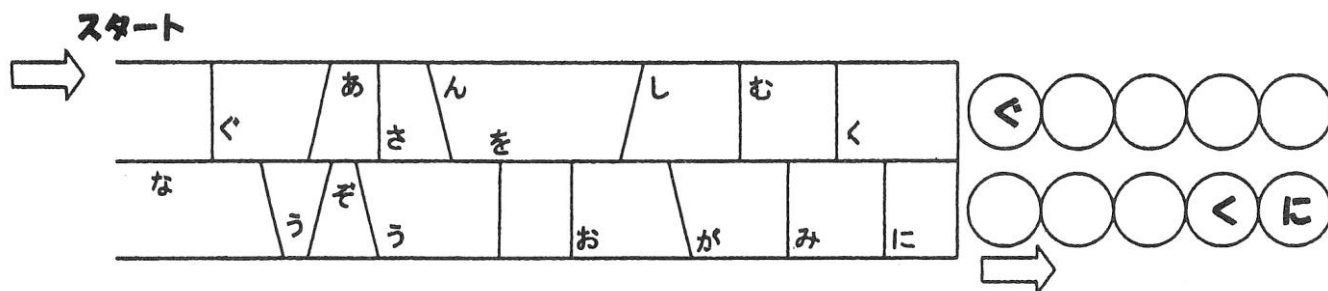
ダニエル 1・1～21

なまえ

1. きょうのおはなしで正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- () ダニエルと3人のともだちは、バビロンの国につれてこられました。
- () ダニエルたちは、イスラエルの国にいたときとおなじなまえでよばれました。
- () ダニエルたちは王さまからもらったごちそうを、おいしそうにたべました。
- () ダニエルたちは、10日の間、やさいだけをたべ、水だけをのんでいましたが、げんきでした。
- () やさいだけをたべ、水だけをのんでいたダニエルたちより、ごちそうをたべていた人たちのほうがげんきでした。

2. バビロンの国はどんな国でしたか？（“あみだくじ”のやりかたでせんをたどってね）



3. バビロンの国につれてこられたダニエルと3人のともだちが、こころにきめたことは、どんなことでしたか？ ————でむすんでください。



ぼくたちは

●ほんとうかみ 本当の神さまでないものを ●れいはいします

●ぐうそうにささげた

たべものやおさを ●

●たべたりのんだりしません

●ほんとうかみ 本当の神さまだけを ●

●おがみません

「^い生きた^{しんこう}信仰」

なまえ

<p>① シャデラク、メシャク、 アベデ・ネゴの^{にん}3人は ● ^{きん}金の^{ぞう}像を</p>	<p>● ^{おう}王さまのいうとおり、おがみました。 ● おがみませんでした。本当の^{ほんとう}神^{かみ}さまを ^{しん}信じていたからです。</p>
<p>② ^{にん}3人は^ひ火の^{なか}中に ● ^い入れられたあと</p>	<p>● みんな^や焼^しけて死^しんでしまいました。 ● だれも^や焼^しけ死^しぬことはありませんでした。</p>
<p>③ ^{おう}王さまは、^ひ火の^{なか}中で ● まもられた^{にん}3人^みを見て</p>	<p>● もういちど、^ひ火の^{なか}中^いに入れてしまいました。 ● 本当の^{かみ}神^{しん}さまが、^{にん}3人^{たす}を助^しけたことを 知^しりました。</p>

わ	た	し	た	ち	は											
			の													
				に	は	つ	か	え	ず	、						
あ	な	た	が	た	て	た										
					を	お	が	む	こ	と	も	し	ま	せ	ん	。

() せかいをつくり、わたしたちをつくられた神さま^{かみ}

() 木^きや石^{いし}でつくった神さま^{かみ}

() わたしを愛^{あい}してまもってくださる神さま^{かみ}

() おいのりをきいてくださる神さま^{かみ}

ワーク 下級 かきゅう

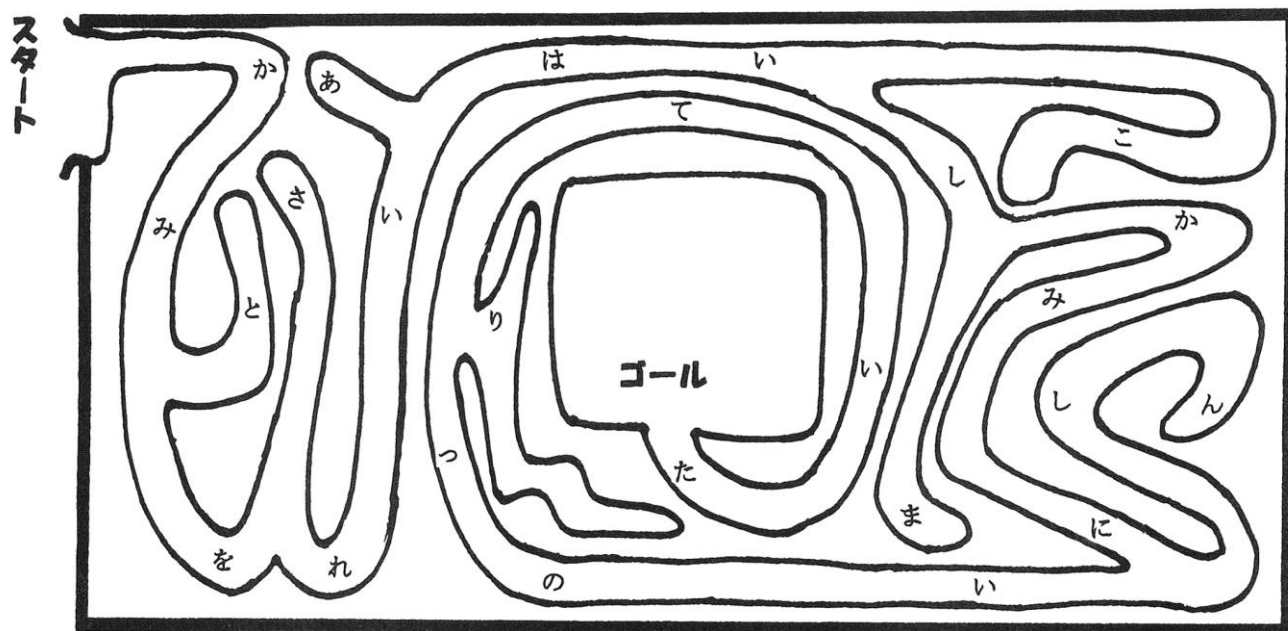
だい 3 課

「^い生きておられる^{かみ}神」

ダニエル 6・6～24

なまえ

1. ダニエルがいつもしていたことは、なんですか？ もじをひろって、ゴールまでいくとわかるよ。



2. したのこと^{なか}ばの中からえらんで、○をうめて、文^{ぶん}をかんせいさせましょう。

ダニエルは、どんなときでも ○ ○ ○ ○ をれいはいし、 ○ ○ ○ ○

をしました。ダニエルがライオン（獅子）のあなにいれたとき、神さまはダニエルを

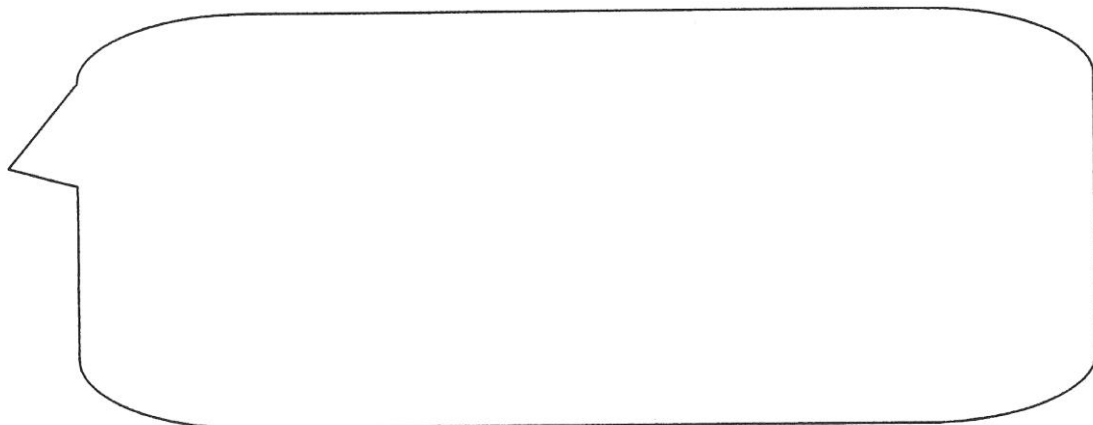
○ ○ ○ ○ ました。わたしたちも、いつもおいのりをして、神^{かみ}さまをしんじましょう。

- ・ まもられ

- かみさま

- ・ おいのり

3. わたしたちの神さまは、生きておられます。そして、おいのりをきいてくださいます。
あなたのおいのりをかいてください。（せんせいといっしょにかんがえてね）



ワーク 中級 第1課 「賢い決意」

ダニエル 1・1～2 1

なまえ

1. 次の質問に答えよう！

- ① 本当の神様を信じる国イスラエルから、偶像を信じる国バビロンへ連れてこられたダニエルたちは呼び名をつけられてしまいます。あいているところに名前を入れてね。

【 ダニエル 】 ⇒⇒⇒ 【 】
【 】 ⇒⇒⇒ 【 シャデラク 】
【 ミシャエル 】 ⇒⇒⇒ 【 】
【 】 ⇒⇒⇒ 【 アベデ・ネゴ 】

- ② ネブカドネツアル王が偶像に供えた肉や酒を飲み食いして元気をつけるように言ったとき、ダニエルたちはどんなことを心に決めましたか。暗唱聖句を覚えながら書いてみよう！

ダニエル 1・8



- ③ 神様を心から信じていたダニエルたちは、その後どうなりましたか？ 線でむすんでね。
- | | |
|--------|---------------------------|
| 10日後 ● | ● 王に、無理やり肉や酒を飲み食いさせられた。 |
| 3か月後 ● | ● 肉や酒を飲み食いしている若者よりも元気だった。 |
| | ● 神さまの知恵が与えられ、賢くなった。 |

2. 考えてみよう！

- ① ダニエルたちはどうして王の肉や酒をかたく断ったのでしょうか？ ○をつけてね。

★ 肉や酒が嫌いだったから。	★ 神様を心から信じていたから。
★ 神様のみ言葉を守りたいから。	★ 肉よりも野菜が好きだったから。

- ② 神様のみ言葉を守らないようなさそいがあったとき、あなたならどうしますか？

◆ 「万引きしようよ」 ⇒⇒⇒ 【 】
◆ 「占いしようよ」 ⇒⇒⇒ 【 】
◆ 「おみくじしようよ」 ⇒⇒⇒ 【 】

《お祈りしよう！》 天のお父様。神様を心から信じて、み言葉を守ろうとする人を、神様は必ず守ってくださることを知りました。私も心から神様を信じて、神様のみ言葉を守らないようなさそいを断ることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

ワーク 中級 第2課 「生きた信仰」

ダニエル 3・13～30

なまえ

1. 次の質問に答えよう！

① それぞれ、あてはまる人の名前を書きましょう。

金の像を作った人	⇒⇒⇒	【	】
金の像を拝まなかった人	⇒⇒⇒	【	】
王に告げ口した人	⇒⇒⇒	【	】

② 金の像を拝まなかった人たちは、王になんと言ったでしょう。

暗唱聖句を覚えながら書いてみよう！

ダニエル 3・18



③ どうして、金の像を拝まなかったのでしょうか？ ○をつけてね。

- ★ 火の燃える炉の中に投げ込まれることを知らなかったから。
- ★ 燃える炉の中に入れても、本当の神様が助けてくれると信じていたから。
- ★ 火の中から助け出されなくても、本当の神様だけを礼拝したいから。
- ★ 金の像を拝まなくても、天国に行けることを知っていたから。

2. 考えてみよう！

① 偶像を拝んでいるのはどれでしょう？ 下の中からえらんで○をつけてね。

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| ・ 地蔵にお辞儀をする。 | ・ 神社に初詣に行く。 | ・ こっくりさん |
| ・ 七夕で短冊を書いて願います。 | ・ 教会で本当の神様を礼拝する。 | |
| ・ 流れ星に願います。 | ・ 主の祈り | ・ お守り |

② もし、偶像を信じるように言われたり、上で○をつけたようなことをしようとさそわれたりしたら、あなたは どうしますか？ ○をつけてね。

- | | |
|------------|------------------------|
| ◆ その通りにする。 | ◆ イエス様を信じているからできないと断る。 |
| ◆ 逃げる。 | ◆ その他 【 |

《お祈りしよう！》 天のお父様。日本にもたくさんの偶像があって、家や学校の行事でどうしてもやらなければいけないようなときがあります。今までやってしまったこともありました。ごめんなさい。これからは勇気をもって、「イエス様を信じているからできません」と言えるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

ワーク 中級 第3課 「生きておられる神」

ダニエル 6・6～24

なまえ

1. 次の質問に答えよう！

① それぞれ、あてはまる人の名前を書きましょう。

新しい王 ⇒⇒⇒ 【
悪巧みをして、王に告げ口した人 ⇒⇒⇒ 【
毎日、本当の神様にお祈りしていた人 ⇒⇒⇒ 【

② 「王以外の神様や人に願い事をしてはいけない」という絶対変えることのできない命令が出たことを知ったダニエルは、家に帰って何をしましたか？

- ★ いつものように、本当の神様にお祈りをしなかった。
- ★ 誰にも見つからないように、本当の神様にお祈りをした。
- ★ いつものように、本当の神様を礼拝し、お祈りをした。

③ 命令を守らなかったダニエルは、その後どうなったでしょう？

【 】にあてはまる言葉を選んで、完成させましょう！
【 】が一生懸命助けようとしてましたが、
【 】のいる穴の中へ入れられてしまいました。
次の日、王がそこへ行ってみると、【 】が
【 】を守ってくださったので無事でした。



かみさま 神様 だれいおすおう
ライオン ダニエル

④ ライオン（獅子）の穴の中に入れられても、なんの傷もなく無事だったもうひとつの理由は何でしょう？ 暗唱聖句を覚えながら書いてみよう！

ダニエル 6・23

2. 考えてみよう！

① あなたはどんなときにお祈りをしますか？

- ◆ お祈りしない ◆ 教会にいるとき ◆ 朝、起きたとき ◆ 夜、寝る前
- ◆ 食事の前や後 ◆ こまったとき ◆ 悲しいとき ◆ うれしいとき
- ◆ その他 【

② 本当の神様はどんな人を喜び、祝福してくださるでしょう？

♪ いつでもどんなときでも【 】を信じて、【 】続ける人 ♪

《お祈りしよう！》 天のお父様。神様を信じて祈り続け、神様を一番にしているなら、どんなことがあっても守られることを知りました。私もダニエルのように、いつでもどんなことが起こっても神様を信じて、お祈りできるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

ワーク 上級 第1課 「賢い決意」

聖書 ダニエル 1・1～21

名前 _____

★ ^{あんしやうせい}暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル 1・8)

(1) ダニエルたちが肉や酒を拒んで、野菜と水だけを頼んだのはなぜですか？

() 食べ物の好き嫌いがあったから。

() バビロンの人たちを困らせるため。

() ^{ぐうぞう}偶像に供えられた肉を食べたり、^{そな}お酒を飲んだりしなくなかったから。



(2) 10日間のテストの後、ダニエルたちはどうなりましたか？

() やせこけてしまった () ^こ肥え太った () 変わらなかった

(3) そのことから、どんなことがわかりますか？

() 野菜と水は、肉より^{えいよう}栄養が^{ほうふ}豊富であること。

() まことの神様を信じる^{しんこう}信仰を言い表す人を、神様は守ってくださること。

() ユダヤの人たちはみんな、^{さいしよくしゅぎ}菜食主義であること。

(4) 日本もバビロンのように^{ぐうぞう}偶像の神々が多くあり、それにまつわるさまざまな^{しゅうかん}習慣があります。
どのように自分の^{しんこう}信仰を言い表せばよいか、下の3人の場合を参考に話し合ってみましょう。



神社のお祭りにさそわれた時は？

^{うらな}

占いの話でもり上がっている時に、なんだかいづらくなっちゃって…



みんながあたりまえにしていることをしないって、勇気があるよね。



★ 今日の決心と、お祈りを書きましょう。

ワーク 上級

第2課 「生きた信仰」

聖書 ダニエル 3・13～30

名前 _____

★ ^{あんしょうせい}暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル 3・18)

(1) きびしい王の命令に対して、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、どちらを選びましたか？

() しかたなく金の像^{ぞう おが}を拝む。 () 絶対に金の像^{ぞう おが}は拝まない。

(2) その結果、どうなったでしょうか？ 19～25節を読んで、ふさわしい言葉をいれましょう。

- ・ 【 】に入れられた。
- ・ ^{しば}縛って入れたのに、火の中を【 】いる。
- ・ しかも、何の【 】も受けていない。
- ・ 三人だったはずが【 】の者が見える。
- ・ 第四の者の姿は【 】のようだ。



(3) 「たとえそうでなくても…」と言った3人は、どんな気持ちだったでしょう？

- () いくら神様だって、きっと無理だろうな。でも、死んでも天国なら、感謝です。
- () 神様は必ず救ってくださると信じて、あとはどうにでもなれ！！
- () たとえどうなろうと、まことの神様以外のもの^{おが}を拝むことはできません。

(4) もし、日本で「金の像^{ぞう おが}を拝まなければ死刑^{しけい}！」というきまりができたら、どうしますか？
下の3人の人の意見を参考に、話し合ってみましょう。

心で信じているなら、
形だけ頭を下げたっ
ていいかも。



金の像の近くに行かな
きゃいいんだよ。
どこか、外国に行く。



神様に守られ
るよう祈るだ
けだよ。



★ 今日の決心と、お祈りを書きましょう。

ワーク 上級

第3課 「生きておられる神」

聖書 ダニエル 6・6～24

名前 _____

★ あんしやうせいく 暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル 6・23)

(1) ダレイオス王の^{きんれい}禁令が出た後、ダニエルはどうしましたか？ 10節を読んでふさわしい言葉を入れましょう。

エルサレムの方角に【 】が開いている屋上の部屋で、
【 】からしていたように、1日に【 】ずつ、
ひざまずいて神の前に【 】、【 】をささげていた。



(2) それはなぜですか？

- () ダレイオス王の^{きんれい}禁令を全く知らなかったから。
- () 自分は王様のお気に入りだから、^{しし}獅子の穴に入れられることはないと思ったから。
- () 神様にお祈りすることが、なによりも一番大事な事だと思っていたから。

(3) ^{しし}獅子の穴に投げ入れられたダニエルが助かったことによって、どんなことがわかりましたか？

(4) あなたはお祈りについて、どのように考えていますか？ 下の3人の人の意見を参考に、話し合ってみましょう。

ほんとの神様は
今も生きていて、
お祈りにこたえて
くださるんだよ。



なんだか、ひとり
ごとみたいで実感
がわかないなあ。

息をするように、
なくてならない
ものよ。



★ 今日の決心と、お祈りを書きましょう。
